

情報通信審議会情報通信技術分科会 CISPR 委員会（第 28 回）
議事録

第 1 開催日時

平成 20 年 9 月 29 日（月） 15 時 30 分～17 時 30 分

第 2 開催場所

三田共用会議所 4 階 第 4 特別会議室

第 3 出席者（順不同、敬称略）

主査：杉浦行

構成員：雨宮不二雄、篠塚隆、塚原仁、徳田正満、藤原修、山中幸雄、
山口高、井上正弘、上芳夫、川崎邦弘、栗原雅幸、田島公博、
千代島敏夫、長沢晴美、亀井雅（野本俊裕代理）、羽田隆晴、
平伴善光、堀和行、松本泰、

関係者：長部邦廣、小玉博一、小橋博一、田中信昭、野田臣光、平田真幸、
吉岡康哉

一般傍聴者：2 名

総務省：杉浦電波環境課長

事務局：大泉電波環境課電波監視官、元村係長

第 4 議事次第

1 開会

2 配付資料の確認

3 議事

（1）CISPR 委員会（第 28 回）議事録案の承認

（2）CISPR 大阪会議対処方針及び委員会報告（案）について

（3）CISPR 規格答申（素案）について

（4）意見聴取の実施について

（5）その他

4 閉会

第 5 議事概要

(1) 事務局から配付資料の確認があった。

(2) 資料 28-1 『前回議事録（案）』について修正意見があれば 10 月 6 日（月）までに事務局あてに連絡することとして承認された。

(3) 資料 28-2 『CISPR 委員会報告（案） CISPR 委員会審議状況及び大阪会議対処方針について』の資料について、杉浦主査から概要説明があった。
国際貢献による最近の受賞者リストや、最近の審議状況を追加したことが報告され、特に異議なく一部字句修正を行い承認された。

(4) 資料 28-3-1 『CISPR 大阪会議総会対処方針（案）』について杉浦主査から概要説明があり、以下の質疑応答があり、日本として、試験方法が複数ある場合は基準となる

- 許容値及び試験法を明示すべきであると主張していくことが再確認され、承認された。
- ・ 14 項(4)について、複数の試験方法を認めると、自衛上、メーカーは全ての測定方法で測定しなければならなくなり、大変になる。
 - ・ EN 指令ではメーカーが測定法を決めればよいとなっている。
 - ・ 一般には複数の試験法は同等と考えるので、混乱が生じる恐れがある。
- (5) 資料 28-3-2 『CISPR 大阪会議 SC / S 対処方針(案)』について雨宮副主査から概要説明があり、特に異議なく承認された。
- ・ 事務局から、今回からエキスパートとオブザーバの席が完全に分離されること、今週末頃まで海外からの参加者に係る登録変更申請を待つことが説明された。
- (6) 資料 28-3-3 『CISPR 大阪会議 SC / A 対処方針(案)』について山中副主査から概要説明があり、下記のコメントの後、特に異議なく承認された。
- ・ アンテナ校正について日本から NWIP を起案する可能性がある。
- (7) 資料 28-3-4 『CISPR 大阪会議 SC / B 対処方針(案)』について野田委員から概要説明があり、下記のコメントの後、特に異議なく承認された。
- ・ CISPR11 第 4 版では基準測定法を定めているが、次の 5 版では製造者が選択可能にしようとしている。
 - ・ GCPC の規定を太陽電池以外のインバータに適用しようとしているので、日本としての方向性を定めておく必要がある。
 - ・ APD の導入にドイツ NC が反対しているが、日本は理論付けしておく必要がある。
- (8) 資料 28-3-5 『CISPR 大阪会議 SC / F 対処方針(案)』について藤原副主査の紹介の後、井上委員、平伴委員から概要説明があり、特に異議なく承認された。
- (9) 資料 28-3-6 『CISPR 大阪会議 SC / H 対処方針(案)』について松本委員から概要説明があり、下記のコメントの後、特に異議なく承認された。
- ・ RMS-Average 検波による測定法は RRT により効果を確認して CISPR13 に導入されようとしている。
 - ・ CISPR14 等、他の規格にも導入の動きがある。被害側の特性や許容値-6dB の根拠について検討する必要がある。
- (10) 資料 28-3-7 『CISPR 大阪会議 SC / I 対処方針(案)』について雨宮副主査から概要説明があり、特に異議なく承認された。
- (11) 資料 28-4-1 『CISPR16 第 2 部第 3 編答申(素案)』、資料 28-4-2 『CISPR16 第 2 部第 3 編翻訳(案)』、資料 28-4-3 『国際規格(CISPR16 第 2 部第 3 編)と同国内規格答申素案との比較』について山中副主査から概要説明があった。
- (12) 資料 28-5 『意見聴取の実施について(案)』について事務局から説明され、今後の答申と意見聴取のスケジュールが提示された。
- (13) 資料 28-6 『CISPR 委員会における女性の登用について』について事務局から説明され、藤原副主査をリーダーとするプロジェクトを立ち上げることになった。
- リーダー：藤原副主査 委員：徳田副主査、山中副主査、塚原副主査、上委員

(14) その他

次回は11月下旬または12月中旬に、上記答申(素案)への意見聴取や、CISPR大阪会議報告の審議のための会合を開催する。

以 上